

**メーキャップ 状況** 7月30日(水) 和歌山東南R.C. 武田 慎介 / 8月2日(土) 地区委員長会議 瀧川 嘉彦

**ニコニコ箱**

ありがとうございました

- 大橋 建一さん 卓話の御礼をニコニコに頂きました。  
 中野 久生さん 家内に美しい花をいただきありがとうございました。  
 村田 昌之さん 本日より卓話が始まります。1年間よろしくお祈りします。  
 玉置 博康さん 県高野連より県大会の日当15日分です。  
 谷口 文利さん 市長さん忙しい中お出で頂きありがとうございます。  
 加藤 裕司さん 7/27の紀の川清掃、炎天下の中大変ご苦労様でした。  
 阪神タイガース応援団一同  
 暑中見舞い申し上げます。  
 八幡 建二さん 大橋建一市長さん、おいそがしい中ありがとうございます。  
 中山 恒夫さん 大橋市長をお迎えして。  
 前田 成蔵さん 大橋市長、本日は公務ご多忙の中、当クラブにお越しいただき、ありがとうございます。  
 よろしくお祈りします。  
 吉田 篤生さん 本日は、身も細る思いです。

【本日の累計 67,726円(計10名)(お誕生日お祝い 65,000円 皆出席 5,000円 その他 459,386円) 累計額 529,386円】

**本日の例会 8月7日(木)**

- 卓話「スナーダイクマエ孤児院について」  
スナーダイクマエ孤児院 メアス博子さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
ソレアード(Zacar)  
オールウェイズ・ラヴ・ユー (Dolly Parton)

**次回の例会 8月21日(木)**

- 卓話「会員増強月間にちなんで」  
2640地区クラブ奉仕部門カウンセラー(直前ガバナー)  
平原 祥彰さん

**前回の例会 7月31日(木)**

- 卓話「みんなで磨く和歌山市」  
和歌山市長 大橋 建一さん
- ロータリーソング 野上 泰造さん  
「それでこそロータリー」
- ビジター紹介 土方 浩市 親睦委員  
和歌山R.C. 竹中 喜廣さん

**●出席報告 田原 久一 出席副委員長**

会員数56名(内出席規定適用免除会員9名)

7月31日(本 日)	38名	80.9%
7月17日(メーキャップ後)	47名	100%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日 時	内 容
	和歌山城南R.C.	8月7日(木)	卓話「会員増強・拡大月間にちなみ」弥勅 多加志会員
	和歌山南R.C.	8月8日(金)	第1回I.D.M.発表
	和歌山中R.C.	8月8日(金)	クラブフォーラム「会員増強」
	和歌山北R.C.	8月11日(月)	例会変更
	和歌山アゼリアR.C.	8月11日(月)	例会休会
	和歌山R.C.	8月12日(火)	例会休会
	和歌山西R.C.	8月13日(水)	例会休会
	和歌山東南R.C.	8月13日(水)	例会休会

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp  
E-mail: info@werc.jp

2008年 8月 7日(木) 週報 / VOL.50 No.6(通巻2369)



**会長報告**

八幡 建二 会長



先日27日の日曜日、紀ノ川河川敷の一斉清掃に参加いたしました。いろいろな団体が参加しておりました。ロータリーでは市内9クラブからも参加しておりましたが、我々東ロータリーからは15名の会員が参加し、最も多かったように思います。暑い中、早朝よりありがとうございました。毎日暑い日が続きますが、どうかお体には十分ご注意くださいと思います。

最近くらいニュースが続きますが、昨日、イチローが日米通産3000安打を達成しましたし、ボクシングでは内藤大助がWBCチャンピオンのリターンマッチで、8回くらいまで不利だったのですが、10回に2度ダウンを奪い、見事逆転KO勝ちし、第3回目の防衛に成功しました。確か月曜日に内藤大助物語がテレビで放映されておりまして、学生時代にいじめにあったことなどを見ておりまして、KO勝ちしたときには久しぶりに感動いたしました。

8月2日にはぶんだらもありますし、90回全国高校野球の甲子園の大会が開幕されます。第2試合には和歌山の智弁も参加するようですので、皆さんもご覧になっていただきたいとお祈りします。

**幹事報告**

前田 成蔵 幹事



本日は大橋市長がお見えになっております。どうか最後までお話を聞きになっていただきたいと思っております。

- ・8月14日 例会休会のお知らせ
- ・昨年度 米山奨学金 財団への寄付の集計表が届いております。  
米山奨学金 1,225,000円、一人当たり22,273円 地区では17位。  
財団への寄付は 13,800ドル でした。

**委員会報告**

**プログラム委員会**

村田 昌之 委員長



本日からいよいよ卓話を担当させていただきますプログラム委員会の村田でございます。岸裏さんと中山先生の3人で今期一年皆様方とともに楽しい卓話にしたいと思っております。どうかよろしくお祈りいたします。

トップバッターとして本日は和歌山市長をお迎えしております。我々もそうですが、トップの笑顔というのは、その下のものにとってホッとしたり、あるいは励みになるものです。市長はいつもニコニコしていて、私も会うと「がんばろう!」という気になります。私たちの企業も大いに考えなければいけないと思います。さわやかな笑顔とともに和歌山市のことを語っていただけたらと思います。

では市長、よろしくお祈りいたします。

## 卓 話

## みんなで磨く和歌山市

大橋 建一 和歌山市長



皆様 こんにちは!

東ロータリーの方々はいつもお世話になっている方ばかりで、まず、心からお世話になっております。

紀三井寺球場の準決勝の日に市和商の応援に行かせていただきました。大会本部で玉置さんに挨拶しているうちに6点取られまして、いつ反撃するかと思ったら最後は18対4、日高中津はこの日打ちすぎて、決勝では智弁に敗れたのかと思います。智弁の甲子園出場に何かしらの貢献ができたのかと慰めているところでございます。

最近地震が相次いで起こっております。岩手県で2つ続けて、それも全く性質の違う地震が発生しております。5月には中国四川省で大きな地震があり、学校が壊れ授業中の子供たちがたくさん犠牲になるということもありました。我々和歌山市は東南海・南海地震に近い将来必ず起こるといわれております。もうひとつ中央構造線の根来断層もあり、直下型地震の心配もござります。これは予測がほとんど不可能です。昭和の南海地震が1946年、1707年には宝永地震があり、この年は東南海地震、南海地震、東海地震や富士山まで噴火して、日本中が災害列島となりました。

地震学者の中で、300年周期説というものがありまして、1707年から301年経っています。昭和の南海地震では270人が亡くなっています。安政地震は140人ぐらい、1707年の宝永地震では和歌山県で700人が記録されております。それだけ規模が大きいということでござります。そういうことを考え、私は市長になったとき学校の耐震化を進めました。関西電力の43億円の協力金を使うことに了解を得て決断いたしました。当時はあまり評判もよろしくありませんでしたが、今年で72%、あと2年で100%となります。これはただ、耐震補強としてできるものについてであって、それ以外の建替えが必要などころにはこのお金を使ってはいけないことで市議会から枠が決まっております。今、西和中学校をやっておりますが、市内では安原小学校の体育館、西脇小学校の体育館が非常に老朽化しております。東和中学校の体育館も陳情をいただいておりますので、これからも安全第一ということで取り組んでまいります。

最近、デジタル型の防災行政無線を和歌山市の52の小学校の屋上に取り付け、稼動を始めました。普段は地域の子供たちの安全のため、例えば不審者情報などにも使うことができます。

それと、地球温暖化の影響といわれております最近の集中豪雨も問題です。5月24日には和田川流域、関戸方面では一時間に50mmという雨が降りました。つい最近の神戸の鉄砲水もそうですが、雨の降り方が尋常でないことが多い。これまで我々はダムや河口堰の必要性に疑問がございましたが、このような災害が起こりますとやっぱり河川の整備もきちんとやっていかないといけないと思います。国からも水害用のハザードマップを作れという通達がきております。

ところでついこの間、記者会見で和歌山市の財政状態について説明をさせていただきました。

2月の試算では、平成19年度決算で連結実質赤字比率が問題になっております。一般会計だけではなく、今和歌山市の抱える国民健康保険やスカイタウンつつじヶ丘にかかる土地造成、下水道などの特別会計も合わせての連結実質赤字によってイエローカード、レッドカードを計られることとなります。市税収入と国からの地方交付税をたしたものが標準財政規模となります。和歌山市の場合730億円ぐらいですが、この数字で割った赤字の値が、16.25%を超えると財政健全化団体(イエローカード)、30%を超えるとレッドカードになります。2月試算では国の数字がきっちり出ていなかったこともあり、マイナス28.5%。レッドカードまで極僅かの大変厳しい数字が試算されておりました。市民の皆様にも大変ご心配をかけ、我々としても気を引き締めて今年の予算編成をし、ご迷惑をかけましたが都市計画税を上げたり、下水道料金を引き上げる、保育料も引き上げるなど荒療治をしなければいけないわけです。

決算見通しが正式に出た段階でどうなったかといいますと、マイナス28.5%まではいかず、マイナス25.16%と少し改善されました。ところが国より通達があって、この計算式より免除するものがあるということで、分母の市税などに臨時財政

対策債の限度額を足すことができる。またつつじヶ丘についても簿価評価はできないけれども時価評価46億円は認めるといことで分子から引けることになりました。下水道についても計画赤字ということで4億円ほど減額できます。合計50億円を分子から減額し、分母には28億円ほどを加算できました。この結果、マイナス17.60%となりました。16.25%がイエローカードですので、平成20年、がんばったら何とかクリアできるだろうと、さらに気を引き締めております。

ただ実際に抱える赤字額200億円が減ったわけではなく、特につつじヶ丘については今年テニスコートにするということで教育用施設として持っていたところを一般会計で買い上げてかなりな額を特別会計に入れるというテクニックも使っておりますし、毎年20億円の利子補給をしなければならない大変な財政であります。

行政のスリム化として、市内42箇所の支所連絡所について極僅かな窓口業務のために職員が必要となっておりますが、この窓口業務の集約として、市内に5つあるコミュニティセンターの一角を利用することを検討中であります。支所連絡所については、隣接する公民館としての機能や地域の防災拠点としては建物もそのままに職員の数を極端に減らすことを実現させたいと思います。

またもう一つの頭の痛い問題として、一般廃棄物の回収の問題があります。青岸エネルギーセンターが非常に老朽化しております、毎年少しずつ修理をしながらなんとか寿命を延ばしている状態です。ゴミ処理場というのは建設するとなると非常にお金がかかります。また場所がありません。どこかに造るとなると必ず反対運動が起こりますから、現在地で建て替えをするしかないわけです。現在この処理の問題について研究検討を重ね、さらには対策審議会を設置し答申をいただく準備をしております。

前述の支所連絡所の件も、連合自治会の会長は全員反対であります。ゴミの問題も市民に負担がかかるとなると、誰一人絶対に賛成していただけないというような問題でありまして、我々は非常に厳しい状況におかれております。

今後の街づくりについて、箱物を作る時代は終わってしまいました。これまでの長期総合計画では、人口50万人の和歌山市を目指すことになっていましたが、5年前に少し修正して45万人ぐらいの街を想定しておりますが、実際問題としてこれから平成37年には人口30万人を割るのではといわれる時代なので、今新しい長期計画を立てつつあります。コンパクトシティというけれど和歌山市はいくつもの場所に生活拠点がありまして、中心市街地も街の象徴として大事だけれど、中心にだけ人が集まるようではダメだろうと。中心市街地に人が集まる構造を作りつつ拠点にも磨きをかけることが必要であろうと考えます。

また和歌山市をこれから発展させるためには「来市人口」、来てくれる人を増やさなければいけない。一説によると、通勤族の方の評価では、日本全国の県庁所在地で青森と和歌山の「食べ物が美味しい」という評価をいただいております。我々はもちろん「何処の何が美味しい」ということを知っていますが、県外の方はもちろん知らない。和歌山の食べ物について開発する余地があり、これはもちろんお店の方にも努力してもらわないといけないが、我々もクチコミで努力していけば広がるのではないかと。しかし行政だけでこれをごんぱっても、どうもうまいかない。「こんな美味しいものがある」といっても行政としては公平な宣伝をしてしまうから結局効果が無い。やはりこの素材に磨きをかけていく主体となるのは市民の皆さんです。

3年前から市民提案事業というものがあります。今年、予算数十万円でお城の動物園を活性化するという提案がありました。ちょうど閉鎖の声も上がっていたときでしたが、動物園が好きな子供たちもいるのだから何とかがんばろうということで、この暑い中、提案したグループが毎週一生懸命がんばっています。こういう提案事業をもっと広げて、行政が民間のサポート役に徹するということがこれからの街づくりにとって一番大事なことだと思っております。

最後に一つお願いがあります。関西国際空港であります。航空会社が燃料高騰によって減便となります。関空の将来が非常に心細い状態です。関空羽田間が18便から一気に5便減って13便になります。これは関空にも和歌山市にとっても大変なことであります。我々としては乗るしかないと思います。是非乗っていただきたいと強くお願いいたします。

本日はありがとうございました。